

井原市教育委員会 5 月定例会会議録【公開用】

1. 招 集 令和 8 年 5 月 1 1 日(月)
2. 開 会 令和 8 年 5 月 2 8 日(木) 9 時 5 5 分
3. 閉 会 令和 8 年 5 月 2 8 日(木) 1 1 時 4 5 分
4. 会議の場所 市役所 4 0 3 会議室
5. 出席又は欠席した委員

出席委員	教 育 長	森 川 孝 一
	教育長職務代理	藤 井 秀 彦
	委 員	奥 田 隆 夫
	委 員	西 田 友 美
	委 員	服 部 教 弘

欠席委員 なし

6. 会議に出席した職員

西村教育次長、高田参与、岡崎教育総務課長、藤井学校教育課長

片山生涯学習課長兼図書館長、青木平櫛田中美術館課長、唐木教育総務課長補佐

7. 教育長が告示した議題

附議事項

【報 告】

報告第 8 号 井原市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について

報告第 9 号 井原市公民館運営審議会委員の委嘱について

報告第 1 0 号 井原市ふれあいセンター運営委員会委員の委嘱について

報告第 1 1 号 井原市立平櫛田中美術館運営委員会委員の任命について

報告第 1 2 号 井原市立平櫛田中美術館運営委員会委員の任命について

8. 傍聴者 なし

9. 議 事

(1) 開 会

- ・森川教育長が開会を宣言

ただいまから教育委員会 5 月定例会を開会いたします。

それでは、次第に沿って議事を進めてまいります。

(2) 前回会議録の承認・公開について

【森川教育長】前回会議録の承認、公開について、事務局から説明をお願いします。

【唐木教育総務課長補佐】前回 4 月定例会の会議録につきましては、既にご確認をいただいております。本会議終了後にご署名をいただきますので、よろしくお願いします。

なお、報告第 3 号から報告第 7 号及び議案第 1 0 号は人事案件のため非公開としております。

【森川教育長】事務局から報告のあったとおり承認することとしてよろしいか。

— 全会一致で承認 —

【森川教育長】では、そのようにお願いします。

(3) 教育長の報告事項

【森川教育長】次に報告事項に移ります。私の方で資料を用意しておりますのでご覧いただきたいと思います。

— 教育長だより「井原“志”民 第124号～第126号」を説明。 —

(4) 議 事

附議事項

【報 告】

□報告第8号 井原市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1項の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

□報告第9号 井原市公民館運営審議会委員の委嘱について

【— 教育委員会会議規則第15条第1項の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

□報告第10号 井原市ふれあいセンター運営委員会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1項の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

□報告第11号 井原市立平櫛田中美術館運営委員会委員の任命について

報告第12号 井原市立平櫛田中美術館運営委員会委員の任命について

— 教育委員会会議規則第15条第1項の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

(5) そ の 他

【森川教育長】その他として、委員のみなさんから何かございますか。

【奥田委員】就学前教育・保育施設の再編整備の地域説明会をされていると思うのですが、これまで実施された地区ではどのような状況、どのような意見が出たのか教えてもらえますか。

【藤井学校教育課長】今現在、7地区終わったところです。保護者・地域の方から色々なご意見やご要望が出ています。例えば、せめて卒園まで待つてほしい。3歳で入園したばかりで、また転園しないといけないので困る。再編に伴い通園距離が長くなるので、スクールバスを走らせてほしい。美星についてはスクールバスを継続してほしい。どうし

てこの配置になったのか。などのご要望、ご意見等がありました。

【奥田委員】回答についてはどのように対応されているのですか。

【藤井学校教育課長】ご要望については、「ご要望として承ります。」と回答しています。特定の地域だけの声を聞いてお答えすることは出来ませんので、全地区をまわって、計画のご理解をお願いするとともに、どのようなご要望やご意見が多いのか把握させていただきたいと思っています。その後に、検討すべきことは検討していきたいと考えています。

【服部委員】閉園予定である地区の説明会の様子はどうでしたか。

【藤井学校教育課長】既に休園になっている地区、また園児数が極めて少ない地区については、幼稚園の再編整備を進めていくことは仕方ないのご理解はいただけたと思っています。また、これまで取り組んできた幼稚園教育は素晴らしいので、数は少なくなっても井原市から無くなることはないようにしてもらいたいのご意見もありました。

【西田委員】参加者の人数や保護者と地域の方の割合などはどのような感じですか。

【藤井学校教育課長】これまでの地域説明会で一番多かったのは、美星地区で37名の参加で、保護者・地域の方の割合は半々、少し地域の方が多かったように思います。芳井地区は保護者の方が多かったですが、その他の地区では、圧倒的に地域の方が多かったと思います。美星以外の地区の参加人数はどの地区も10～15名程度といった感じです。

【西田委員】先ほど、幼稚園教育は素晴らしいのでぜひ残してもらいたいという要望があったと説明がありました。そういった思いを持たれている方が来られているんですね。傾向としては、保護者よりも地域の方が多いいですね。在園児が少ない地区においては、どうしてもそういった傾向になってしまいますね。

【藤井学校教育課長】幼稚園の存続に強い思いを持たれているのは、やはり在園児の保護者、特に3、4歳児の保護者の方だと思います。

【西田委員】せめて卒園まで待つてほしいということですね。

【藤井学校教育課長】在園児の卒園を待つということになると、閉園予定の幼稚園の入園募集を行わないので、年々園児数は減っていくことになります。少ない環境で過ごす1年と、ある程度の規模の中で過ごす1年を比べた時に、やはりある程度の規模の中で過ごす環境の方が子どもたちの成長につながると考え、再編整備計画を策定していますと、地域説明会では回答させてもらっています。

【藤井職務代理】美星の地域説明会では、終了予定時間が来たので、質疑を打ち切られたという声もお聞きしました。

【藤井学校教育課長】美星については、スクールバスのことについて保護者の意見を聞いてほしいと声もあり、別の日に保護者を対象に意見を聞く会を設けさせていただいたところ です。

【藤井職務代理】スクールバスについては、うまくまとまりそうですか。

【岡崎教育総務課長】今はご意見を伺って持ち帰らせていただいたという状況です。

【藤井職務代理】学区制がなくなるので、スクールバスではなく、一般混乗という形で、料金負担などなく、小学校のスクールバスに継続して乗ることはできるけど、バス停までの送り迎えなどは保護者の責任ということですが、今のスクールバスの運用はどうなっているのですか。

【岡崎教育総務課長】今もバス停までの送迎は保護者の同伴、責任でお願いしています。スクールバスという位置づけもあって、美星幼稚園の方で、バスと一緒に乗って指導をするなどの対応をしていますが、一般混乗扱いになるので、そういった運用面で話し合いや協議が必要になってくるのかなと思っています。

【藤井職務代理】保護者がついてバス停まで送ったり、迎えに行ったりしているということですから、そこは変わらないということですね。昔は小学生の人数も多く、バスの中で幼稚園児の見守りというか、世話をするというのもしていましたが、今は小学生の人数も減ってしまい、目もなかなか幼稚園児に届かないということもあるのではないかと思います。安全に通園できるようにしてほしいと思います。

【奥田委員】高屋地区での説明会は明日ですが、中学校区に公立の幼稚園がないということもあり、色々な意見等が出てくるのではないかと思います。一旦はご意見・ご要望として受け止めるという感じでしょうか。その上で、計画の修正なども検討されるのでしょうか。

【藤井学校教育課長】ご意見・ご要望については、協議をしないといけないと思っています。

【藤井職務代理】幼稚園の重要性というものをもっと感じてもらえる方策はなかったのかなと思うところはありますね。

【藤井学校教育課長】令和元年に保育の無償化が始まって、基本的に保育園に預けても、幼稚園に預けてもお金がかからないということで、圧倒的に保護者の方は、0歳児から保育園に入れたほうが入りやすいですし、幼稚園教育が素晴らしいとアピールしても、3歳児になったら幼稚園に変わるという選択をなかなかしてもらえないという現状があると思います。

【藤井職務代理】特段問題がなければ、3歳から5歳の3年間、これまで同様保育園でという風に保護者の方は考えるのでしょうか。

【藤井学校教育課長】そう考えるのが普通なのかなとは思いますが。

【森川教育長】預ける時間、また土曜日の保育実施という点も大きな点であると思います。就学前児童数の3分の2の園児が保育園に行っている以上、保育園の教育の充実はとても大切であると思っています。

【西田委員】先日新聞に「小中学校のあり方検討委員会」の様子が出ていましたが、アンケート結果なども含めて、どのような内容だったのか詳しく教えてください。

【藤井学校教育課長】今回の検討委員会では、児童生徒及び保護者アンケートの結果についてご意見をいただきました。また、第2回の検討委員会で地域の方を対象としたアンケート実施という意見がありましたので、そのアンケートの内容や方法についてご協議を

いただきました。

保護者と児童生徒アンケート結果については、小規模校の子どもたち・保護者、特に複式学級がある学校については、圧倒的に統廃合してほしいという声が多かったので、統廃合の方向で考えていかないといけないのではないかという意見がありました。また中学校に関しては、通学の距離が伸びるであるとか、新しい人間関係の不安など、やや統廃合には後ろ向きの回答が多かったこともあり、まずは小学校から統廃合を検討していくべきではないのかという意見がありました。

地域の方を対象としたアンケートの実施に際しては、児童生徒・保護者のアンケート結果を受けての形にすべきとの検討委員会での意見もあり、どのようなアンケートの内容にしたら良いか協議をしていただきました。協議の結果、アンケート結果を載せるよりも、今後の井原市の人口減少というか、子どもたちの人数がどんどん減っていくということを認識してもらった上でアンケートに答えてもらった方が良いのではということになったので、事務局の方で児童生徒数の今後の推計を示すような方向で進めていくこととなりました。児童生徒や保護者のアンケート結果の公表も行い、アンケートを実施していきたいと考えています。

【西田委員】新聞では、「学校再編を進めるべき」「どちらかと言えば、学校再編をしたほうが良い」と回答された方が合わせて53%という結果で微妙な数値だなという印象を持ちました。小規模校の地区は仕方ないという気持ちや一緒になったほうが良いという思いが強いのだと思いますし、ある程度児童数がある地区はどちらでも良いではないですが、あまり再編には関心がないと思われているのか、地域によっても温度差があるのではないかと思います。

【藤井学校教育課長】再編に反対という意見は2割程度で、それ以外は「わからない」という回答でした。わからないと選択された方も非常に多かったです。児童生徒及び保護者アンケートの内容について、検討委員会で協議をいただいた中で、「わからない」という選択肢を入れてくださいという意見があり、回答項目に追加したという経緯があります。「わからない」を除いて考えた時に、反対に対して、賛成が倍近くあるということは数値として表れているところかなと思っています。53%という数値だけを見れば、どうなのかなと思われるかもしれませんが、賛成と反対だけを見ると、倍近く賛成の意見が多い、特に小規模校の保護者の回答を見ても、9割の保護者が賛成しているという地区もありました。

【西田委員】新聞だけの情報では読み取れないところはたくさんありますね。

【服部委員】地域の方へのアンケート調査の実施は、事務局として当初から計画されていたのですか。

【藤井学校教育課長】事務局としては計画していませんでしたが、あり方検討委員会の中で意見があり、アンケートを実施することとなりました。

【奥田委員】教育委員としても、就学前、小中学校のあり方の検討については、非常に興味

関心があるところです。地域の声も色々と耳に入ってきています。今回のアンケート結果についても事務局がまとめられていると思うのですが、そういった資料の提供であったり、検討会議の進捗状況であったり、この会議を通じて、情報提供や報告、説明を事務局にお願いしたい。

【西田委員】先ほど、奥田委員も言われましたが、資料提供や検討過程の状況報告など情報提供していただけるとありがたいです。

【奥田委員】登校班を見ても子どもの数が減ったなと思いますし、地域の方も思われている。

【西田委員】この前、小学校の運動会がありましたが、全校で15人。子どもが少ないなど会場におられた地域の方は思われたんじゃないかと思います。

【藤井学校教育課長】子どもが減れば、教員の数もそれに合わせて減っていきます。教頭先生が担任を持ったり、教頭先生の配置ができなくなったり。また事務や養護の先生の配置が出来なくなったり、学校運営にも支障が色々出てきます。地域の方は、学校を残してほしいとよく言われますが、子どもたちの教育環境として、最も良い環境はどういったものなのかを一番に考えて検討委員会で協議をしてもらいたいと思っています。

【奥田委員】出生数は減少傾向にあり、再編の方向性について、何年先を見据えて考えていくかという点も非常に重要ではないかと思います。

【西田委員】市民アンケート調査については、元々計画していなかったけど、検討委員会から意見等があり実施されるということですが、スケジュール的にはどうなってくるのでしょうか。やはり答申を受ける時期というのは、後ろにずれ込むようになるのでしょうか。

【藤井学校教育課長】当初スケジュールより後ろにずれ込んでしまうと思っています。スピード感も大事ですが、市民アンケート調査を実施しないで進めるよりは、検討委員会の中での合意形成を図りながら進めるべきと考え、このたびアンケート調査を実施することとしました。

ー「小中学校のあり方の検討に係る児童生徒及び保護者アンケート調査結果」を配布ー
ー藤井学校教育課長からアンケート結果概要等について説明

【森川教育長】この件についてはよろしいですか。ほかに事務局からありますか。

【藤井学校教育課長】前回4月定例会でのご質問がありました2点について、ご報告させていただきます。1点目ですが、全国学力テストについてです。4月定例会の時点では、C B T方式により実施した英語の一部のテストが未了でしたが、トラブルなく全て実施することが出来ましたのでご報告させていただきます。2点目ですが、各中学校の定期テストの実施回数についてです。高屋中と芳井中で4回、木之子中・井原中・美星中で3回実施しています。実施する教科数については学校ごとに違います。それ以外に、実力テストを実施しています。学年によって回数は違いますが、いずれの中学校も3年生は4回しております。それ以外に単元テストも各学校実施しております。

【唐木教育総務課長補佐】議事録ですが、本日の附議事項のうち報告第8号から報告第12

号までは人事案件であるため、非公開の方向で作成させていただきます。なお、公開の可否については、次回定例会で承認をいただきたいと考えております。

- 各担当課長から教育委員会令和8年6月行事予定表により行事予定を説明 —
 - 6月定例会を6月26日、金曜日午後2時から開催することに決定 —
 - 第5期教育審議会の設置（目的・組織・会議の進め方など）について説明 —
- 6月中旬に6月定例会協議用の資料を事前送付すること、第1回教育審議会の開催日時等について周知を行った。

（6）閉 会

【森川教育長】以上を持ちまして、5月定例会を閉会とします。委員のみなさま、本日はありがとうございました。